NIE実践報告

1．タイトル：身近な話題を新聞記事から集め、発信しよう

2．学校名

作新学院小学部

3．実践者名（代表者名）

八島禎宏

4．学年

第5学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会　68人

6．単元（本時の学習課題）名

記事を集め、考えたことを発信しよう

7．目標(狙い)

収集した新聞記事から一点を選び、読んで考えたことや自分の課題について意見文を書き、交流をしている学校宛に発信する。

8．評価の視点

収集した資料を活用し、自分の考えや感想を明確に表現し意見文を書くことができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「わたしたちのくらしと情報」(教科書教材:日本文教出版)　12時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①先輩たちが取り組んできた「切り抜き新聞」を見て、新聞づくりの方法を知り、収集計画を立てる。
②普段から考えている“ 自分の課題 ”と近い新聞記事を収集し、それをもとに意見文を書く。
③発信コーナーの意見文を含めた切り抜き新聞を、交流している学校に送付する。

(留意点)
・交流している学校は、被災地にあるため、その点を十分に配慮するよう指導する。
・送付する前に、校内でプレゼンをし意見交換をする。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

興味がある新聞記事を切り抜き貼るだけでなく、「意見発信コーナー」を設けたことが学習意欲の向上につながった。

12．成果と課題

本校では、数年前からNIEの活動に取り組んでいる。そのため、指導者側に経験が積まれ、児童に助言する選択肢が多く用意できたことが教師側の成果である。
児童は、新聞を読むことに慣れていないグループもあったが、子ども新聞を家庭で購読している者もいて、資料の収集に積極的だった。
今後は、本校のNIE活動が5・6年生の高学年だけであるため、中学年や低学年にどう広めていくかが課題である。